

mitoco AI

mitoco AI Ver. 5.0
リリースノート

リリース日:2026年5月29日



目次

はじめに	3
1 リリース内容	4
1.1 Agentic RAG 機能	4
1.2 AI モデル切り替え対応	6
1.3 MCP 対応サーバーの追加	7
2 お問い合わせ先	8
3 免責事項	8

はじめに

本リリースノートでは、mitoco AI の主要な新機能や、既存機能の機能強化に関する概要情報を提供します。新機能および機能強化には、既存の環境に影響を与える可能性があります。

■ 概要

Ver. 5.0 では、以下の機能を強化または追加しています。詳細については、ハイパーリンクをクリックしてください。

- [Agentic RAG 機能](#)
- [AI モデル切り替え対応](#)
- [MCP 対応サーバーの追加](#)

その他の軽微な変更・不具合修正:

上記の機能強化に加え、ユーザーインターフェースの改善や安定性向上のための軽微な変更、および報告されたいくつかの不具合修正を実施しています。

1 リリース内容

1.1 Agentic RAG 機能

mitoco AI トップ画面から、Agentic RAG を利用できるようになりました。

これにより、登録されたファイル情報をもとに、複数の関連情報を参照しながら回答を生成できます。

従来の RAG 検索では、質問内容に関連する情報を検索して回答を生成していましたが、本対応により、関連する複数の情報を段階的に参照しながら、より複雑な質問にも対応できるようになりました。

これにより、複数ファイルにまたがる内容の確認や、関連情報を含めた回答を取得できます。



こんにちは、みとこんです。何でも聞いてください
AI の回答は必ずしも正しいとは限りません。重要な情報は確認するようにしてください。

名刺発注の手順を、初心者向けにスクリーンショット前提で順番に説明してください。

ツール選択
Agentic RAG検索
ツール選択

名刺発注の画面をスクリーンショットしながら説明する前提で、「1枚目はこの画面、2枚目はこの画面...」という形で手順を整理します。初心者向けに、どこをクリックするかも書いてあります。

0. 全体の流れ（説明用の1枚目）
1枚目のスクリーンショット：名刺発注システムのトップ画面、または「名刺作成の流れ」のスライドを撮る。

- 各自がシステムにログインして名刺を申請する。
- その後、事務担当・総務担当が内容を確認し、発注を行う。

ここでは「まずは自分で申請 → 事務・総務がチェックして発注」という流れを文章で補足しておきます。

1. ログイン画面の説明（2枚目）
2枚目のスクリーンショット：ログイン画面。
説明文の例：

- Chrome で次のURLを開きます：
 - <https://ez-print.jp/iautsys/Login.aspx?corpId=00000163>
- 「ログインID」「パスワード」には、自分のメールアドレスの @ より前の部分を入力します。
- 例：メールが taro.yamada@xxxx.co.jp の場合 → taro.yamada
- 「ログイン」ボタンをクリックします。
- もし「会社ID」の入力を求められたら、00000163 と入力します。（出典：[ログイン方法 \(URL・ID/パスワード・会社ID\) slide 3](#)）

2. テンプレート選択画面（3枚目）
3枚目のスクリーンショット：【すべて】タブと、本社・支店のテンプレート一覧が見えている画面。
説明文の例：

- 画面上部で【すべて（デフォルト）】が選択されていることを確認します。
- 名刺を作成する拠点を選びます。（出典：[申請方法 \(テンプレート・本社/支店選択\) slide 4](#)）

Agentic RAG の回答結果に表示される出典リンクをクリックすることで、一部の対応ファイル形式について、見やすいプレビュー形式で内容を確認できます。

これにより、見出しや箇条書きなどを含めた、より見やすい形式で回答を確認できます。

主な対応ファイル形式:

Word(.docx)

Excel(.xlsx)

PowerPoint(.pptx)

※上記以外のファイル形式は、プレビュー表示に対応していません。



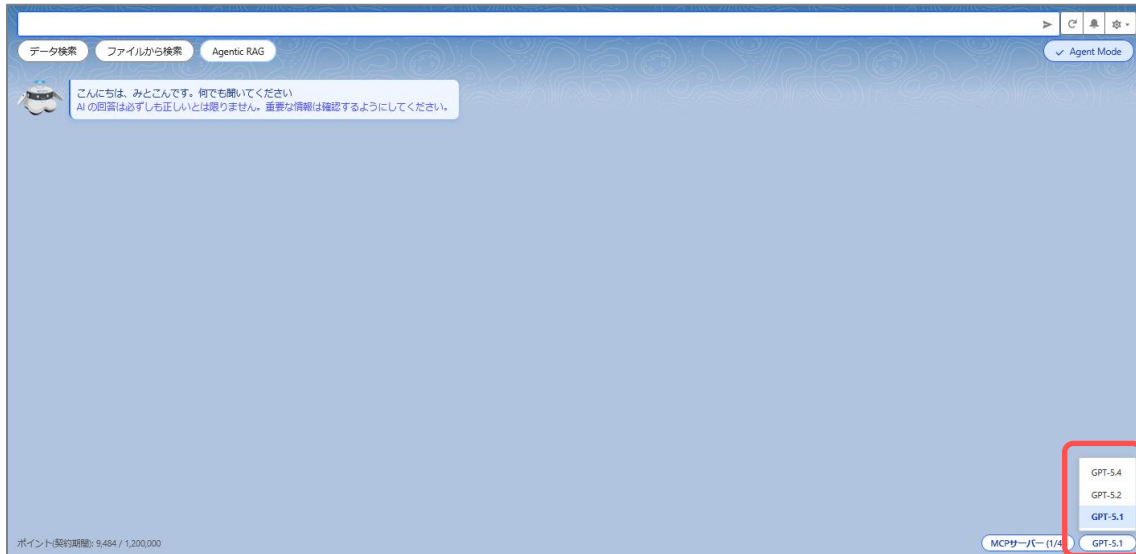
[Salesforce で元ファイルを確認]をクリックして元ファイルを直接確認することも可能です。



1.2 AI モデル切り替え対応

mitoco AI トップ画面から、利用する AI モデルを切り替えられるようになりました。
これにより、利用者は質問内容や利用シーンに応じて、利用する AI モデルを選択できます。

従来の仕様では固定の AI モデルで回答生成を行っていましたが、本対応により AI モデル(GPT-5.1、GPT-5.2、GPT-5.4)を画面上から切り替えて回答を取得できるようになりました。



1.3 MCP 対応サーバーの追加

MCP クライアント機能において、新たな MCP 対応サーバーを追加しました。

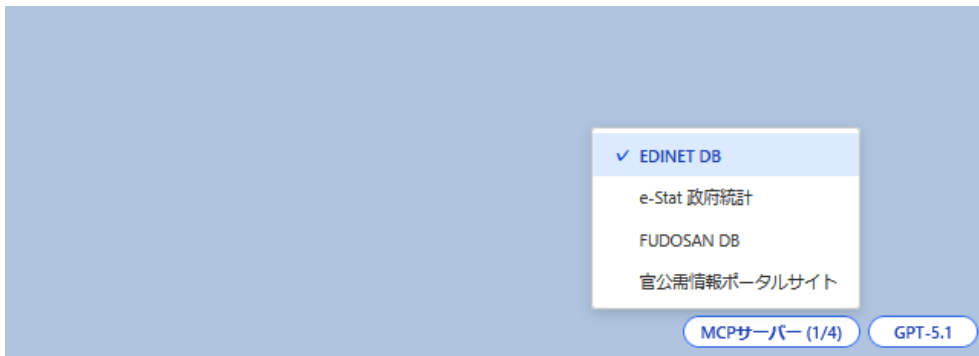
これにより、mitoco AI から利用できる外部サービスや業務データの参照範囲が拡張され、用途に応じて複数の MCP サーバーを利用した回答生成が可能となります。



追加された MCP サーバー

MCP サーバー	概要
EDINET DB	有価証券報告書などの企業開示情報を参照
e-Stat 政府統計(総務省)	政府統計データを参照
FUDOSAN DB	不動産情報サイト「不動産 DB」との連携
不動産情報ライブラリ(国土交通省)	不動産関連の公開情報を参照
官公庁統計ポータルサイト(中小企業庁)	官公庁の公開情報を参照
郵便番号検索(API-ZIPCODE.JP)	郵便番号情報を検索
Slack	Slack 連携機能

利用したい MCP サーバーが複数指定されている場合、MCP サーバーを切り替えて回答結果を取得できます。



2 お問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、以下よりお問い合わせください。

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

3 免責事項

- ・ 本リリースノートは 2026 年 5 月 29 日現在のものです。Salesforce および本製品は、定期的にアップデートされるため、記載内容と現在の動作が異なる場合は、現況を優先させていただきます。
- ・ mitoco AI の利用規約については、[こちら](#)をご覧ください。
- ・ 本リリースノートの内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- ・ 本リリースノートの内容につきましては万全を期しておりますが、万一不明な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。



製品サポート

製品情報

<https://www.mitoco.net/AI>

お問い合わせ窓口

<https://d.terrasky.jp/ProductSupport>

mitoco AI Ver.5.0 リリースノート

リリース日：2026年5月29日（第1版）